

■ 長期目標

評価指標	単位	計画策定時	中間評価時(R8)			最終目標 (R11)			最終目標達成度	主な取組	R7年度の取組実績	実施評価	R7年度の取組の成果・課題	R8年度に向けて	R8年度の取組の方向性について
			目標値	実績値	年度	目標値	実績値	年度							
健康寿命の延伸	歳	男性 81.82歳 女性 85.88歳 (R2)	-	男性 81.62歳 女性 85.86歳	R6	-			-	個別保健事業および中期目標に取り組むことにより、生活習慣病の予防と早期発見・早期治療を推進し、長期目標とする「健康寿命の延伸」を図ります。	第2期草津市国民健康保険保健事業推進計画に定める保健事業について、特定健診や生活習慣病予防などの事業毎に進捗管理と評価を行うことができました。	○期待とおりの成果があった	健康づくりや生活習慣病予防について、健康イベントや広報・SNSでの周知啓発、特定健診個別勧奨やハイリスク者への受診勧奨を行うことで保健事業を推進し、健康寿命の延伸を図りました。 新たにSMSを活用した受診勧奨も実施し、集団けん診において電子申請予約を取り入れたこと等により、特定健診の受診率向上に繋がりました。	1.内容を変えずに実施	【保険年金課】 第2期草津市国民健康保険保健事業推進計画に定める健康づくりや生活習慣病予防などの個別保健事業について、毎年度評価や進捗管理を行い、事業の改善を図りながら取り組むことで、生活習慣病の予防と早期発見・早期治療を推進し、健康寿命の延伸を図ります。 また、SMSを活用した受診勧奨や被用者保険と合同による集団けん診を継続し、未受診者の特性に応じた受診勧奨を行い健診受診の周知啓発に取り組みます。
											第3次健康くさつ21に基づき、ライフステージに応じた健康づくりの取組を進めました。 ・健康づくり推進協議会の開催（1回）（R6：1回）	○期待とおりの成果があった	健康寿命の延伸と健康格差の縮小に向け、第3次健康くさつ21に基づき、各種事業に取り組み、草津市健康づくり推進協議会の開催を通じて、目標の達成状況を確認し、改善を図ることができました。 今後においては、ライフステージに応じた健康づくりに加えて、ライフコースアプローチの視点も取り入れた取組を進めていく必要があります。	1.内容を変えずに実施	【健康増進課】 第3次健康くさつ21に基づき、各種事業に取り組み、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図ります。また、草津市健康づくり推進協議会等の開催を通じて、PDCAサイクルに沿って目標の達成状況を定期的に点検・評価し、継続的に改善を図ります。

■ 中期目標

評価指標	単位	計画策定時	中間評価時 (R8)			最終目標 (R11)			最終目標達成度	主な取組	R7年度の取組実績	実施評価	R7年度の取組の成果・課題	R8年度に向けて	R8年度の取組の方向性について
			目標値	実績値	年度	目標値	実績値	年度							
①メタボリックシンドローム 該当者・予備群の割合	%	27.6%	－	29.0%	R7	21.8%		75.2%	生活習慣病の予防には、まずはその前段階の状態と言えるメタボリックシンドローム該当者・予備群の減少に向けた取組が必要といわれています。受診対象者の実態把握や医療機関受診の啓発を行い、メタボリックシンドロームに関する項目の該当者や予備群の減少を目指します。	特定健診の結果により、医療機関受診となった方に対して、勧奨通知や電話による受診勧奨を行いました。 ・受診勧奨対象者数：144人（R6：107人） ・勧奨後医療機関受診者数：74人（R6:73人）	○期待とおりの成果があった	特定健診の結果、基準値を超え、医師の判断により医療機関受診となり、レセプトによりメタボリックシンドローム関連の受診が確認できない方に対して、通知や電話により医療機関の受診勧奨を実施しました。また、より重症化のリスクがある方に対しては個別性のあるメッセージを記載した再勧奨を実施しました。 特定健診受診者数の増加に伴い、メタボリックシンドローム該当者・予備軍の人数・割合も増加しており、引き続き重症化予防のリスクがある方に対してアプローチを実施する必要があります。	1.内容を変えずに実施	【保険年金課】 特定健診を受診し、医師の判断により要受診となり、レセプトによりメタボリックシンドローム関連の受診が確認できない方に対して、通知や電話により医療機関の受診勧奨を実施します。また、より重症化のリスクがある方に対しては、再勧奨通知や訪問等での受診勧奨も検討し個別性のあるアプローチを実施します。メタボリックシンドローム該当者・予備軍が増加しており、引き続き医療機関の受診に繋がるとする通知や電話等のアプローチを検討していきます。	
										生活習慣病のリスクが高い者に対し、状態に合わせた情報提供、生活習慣病相談や運動教室の利用勧奨を行いました。特定保健指導対象者への勧奨通知には、健診結果とリスクを記載することで、利用を促すとともに、電話勧奨に加え、電話勧奨不在者に対する訪問を強化しました。また、特定保健指導については、利用方法を選択できるよう、イベント型特定保健指導やオンライン面談などを実施しました。 ・栄養相談・生活習慣病相談 延べ29人（R6：17人） ・運動教室利用者 延べ36人（計6回開催）（R6：73人 計6回開催） ・イベント型特定保健指導 31人（R6：24人） ・オンライン面談 1人（R6：2人）	○期待とおりの成果があった	生活習慣病のリスクが高い者に対する情報提供や相談を行うとともに、勧奨方法の工夫や利用方法を選択できる勧奨づくりを行う等、特定保健指導利用者増加に向けた取組を進めることができました。	1.内容を変えずに実施	【健康増進課】 生活習慣病のリスクが高い者に対し情報提供を行い、生活習慣改善に向けた相談や実践の機会を設定することで、生活習慣病発症予防を支援します。また、特定保健指導対象者に対しては、個別勧奨（通知、電話、訪問等）の実施やイベント型特定保健指導の開催、オンライン面談を実施するとともに、生活習慣病予備軍の人に対しては、生活習慣の改善に向けた保健指導を行います。加えて、電話勧奨不在者に対する訪問を強化し、特定保健指導利用者増加に取り組みます。	
②新規人工透析患者数の減少	人	10人	－	3人	R7	9人未満		300.0%	【糖尿病性腎症重症化予防事業】 対象者への通知、訪問、電話等により、健康状態や生活状況の聞き取り、特定健診や医療機関の受診勧奨、保健指導を行いました。 ①通知・リーフレット送付者数：30人（R6：51人） 医療機関受診に繋がった者：4人（R6：8人） 特定健診受診に繋がった者：7人（R6：17人） ＜中断者＞ 対象者：15人（R6：30人） ・医療機関受診に繋がった者：3人（R6：7人） ・特定健診受診に繋がった者：0人（R6：3人）	○期待とおりの成果があった	通知や訪問等で、生活状況・健康状態の把握をし、特定健診や医療機関の受診勧奨を実施しました。 不在の方や、訪問後に再度受診状況等の確認が必要な方に対して、電話で聞き取りを行いました。電話でも介入を行うことで、医療機関の受診率が向上しました。また、R6年度の対象者に対しても、電話でその後の経過や健康状態の聞き取りと特定健診の受診勧奨を行うことで、継続的なフォローを行いました。	1.内容を変えずに実施	【保険年金課】 滋賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、対象者に対して通知や訪問により特定健診や医療機関の受診勧奨を行い、対象者が生活習慣を見直すことで、糖尿病の重症化予防を図ります。また、対象者に経年的に関わることで、継続した受診勧奨を行います。		
									＜未受診者＞ 草津市医師会や特定健診実施医療機関に当該事業にかかる周知を行いました。対象者について、通知や電話、訪問による利用勧奨を行い、かかりつけ医と連携した保健指導を行いました。また、前年度における事業利用者については、電話等でフォローを行いました。 ・対象者への利用勧奨（通知や電話、訪問）15人/15人（R6：21人） ・訪問・架電・保健指導による変化 医療機関受診 1名増加（R7：15人、R6：14人） 健診受診 8人増加（R7：9人、R6：1人） ・かかりつけ医と連携した保健指導 5名（実施率16.7%）（R6：7名 実施率13.7%）	○期待とおりの成果があった	対象者全員に利用勧奨を行い、保健指導実施者に対しては、それぞれの状況に応じた指導を継続的に実施し、生活習慣の改善と医療機関受診・健診受診を支援することができました。	1.内容を変えずに実施	【健康増進課】 糖尿病性腎症が重症化するリスクの高い者（ハイリスク者）に対して、医療機関への受診と治療継続を促します。また、かかりつけ医と連携した保健指導の取組を実施し、生活習慣の改善を通して、糖尿病性腎症の発症を予防します。また、過去の当該事業利用者に対しても、継続的なフォローを行うなど、生活習慣の改善と医療機関受診・健診受診を支援します。		

■ 計画指標 （※）は県との共通目標

方針：健康づくり																
方向性	評価指標	単位	計画策定時	中間評価時(R8)			最終目標（R11）		最終目標達成度	主な取組	R7年度の取組実績	実施評価	R7年度の取組の成果・課題	R8年度に向けて	R8年度の取組の方向性について	
				目標値	実績値	年度	目標値	実績値							年度	
健康意識の向上	①健康づくりの取組と情報発信	週に1回（30分以上）は運動をしている市民の割合	%	57.7%	66.0%	56.3%	R7	69.0%	81.6%	①広報くさつ（4月号、6月号、9月号、10月号、11月号、12月号、2月号）や市のホームページ、公式LINE、南草津駅デジタルサイネージ等で、特定健診に関する案内を掲載し、受診を促しました。 ②BKCウェルカムデーにおいて、マイナ保険証の紐づけ支援とともに、健康測定会を実施し、特定健診と生活習慣病予防の啓発を行いました。 ⑦集団けん診会場において、保険会社による健康啓発ブースを設置し、健康づくりの情報発信を行いました。 ⑩特定健診のリーフレットにマイナポータルでの健診結果閲覧について記載し、周知しました。	○期待とおりの成果があった	①広報くさつ等の掲載時期や内容を検討し、集団けん診について、新たにイオンモールで実施すること等を追加で掲載することで、申込に繋がりました。引き続き、より効果的な受診勧奨や健康づくりの情報発信を検討し実施する必要があります。 ②BKCウェルカムデーでの健康測定会を通して、多くの方に健康づくりの啓発を行うことができました。幅広い世代に向けた啓発ができるよう、内容等について検討していきます。 ⑦集団けん診会場での保険会社の健康啓発ブースで、健康意識を高めるような啓発を行うことができました。引き続き、内容について検討していきます。 ⑩特定健診対象者全員にリーフレットを送付し、マイナポータルで健診結果が閲覧できることを周知しました。	1.内容を変えずに実施	【保険年金課】 ①広報くさつや市のホームページ等で、健康づくりに関する情報を提供します。 ②BKCウェルカムデーにおいて、健康啓発ブースを設置し健康づくりに関する啓発を行います。 ⑦集団けん診において、保険会社や他課と連携して健康啓発ブースを設けるとともに、健康づくりに関するチラシを設置し啓発を行います。 ⑩特定健診リーフレット等において、マイナポータルで健診結果を閲覧することができることを周知します。		
										①広報、市のホームページ等により健康づくりに関する情報を提供します。 ②健康イベント等で情報を提供します。 ③健康推進員により、地域の様々な機会を活用した健康づくりの啓発を行います。 ④健康づくりの「きっかけ」や「継続効果」につながるよう、健康推進アプリ【BIWA-TEKU】を活用した取組を進めます。 ⑤歩行を意識し、自然と歩きたくなるような環境づくりと啓発に取り組めます。 ⑥運動による生活習慣病予防、ロコモティブシンドローム予防、フレイル予防等の周知・啓発に努めます。 ⑦集団けん診や乳幼児健診の場において、リーフレットを配布し、糖尿病と歯周病の関係性等について啓発を行います。 ⑧料理レシピサイトを通じ、草津市産農産物等を使ったレシピや食育に関する情報を発信することで、食育の推進を図ります。 ⑨栄養教諭と連携し、栄養素や食に関する指導をすることで、学校における食育の推進を行います。 ⑩マイナポータルに代表される、自身の保健医療や健康情報（特定健診情報、予防接種の履歴、薬剤情報など）を確認できる新たな技術の活用による健康づくりを推進します。	○期待とおりの成果があった	市ホームページや広報くさつ、デジタルサイネージや、各健康イベント等の様々な機会を通して、生活習慣病予防や重症化予防に向けた取り組みを実施し、市民の健康増進に寄与することができました。	1.内容を変えずに実施	【健康増進課】 ①広報くさつ、市のホームページ等を通じて、健康づくりに関する情報を提供します。 ②健康フェアやBKCウェルカムデー等のイベントを通じて、健康づくりに関する啓発を行います。 ③地域でのイベント等において、生活習慣の見直しや生活習慣病の発症予防に関する啓発、口腔衛生・低栄養・フレイル予防に関する事業を実施するほか、くさつ健康はつらつ体操の普及啓発などを行います。 ④健康的な生活習慣の実践の促進を図るため、県や県内市町、事業者等と連携し、健康推進アプリ【BIWA-TEKU】の利用者増加に向けた周知啓発を行います。 ⑤自然と歩きたくなる環境の整備や運動する機会の提供に取り組めます。 ⑥誰もが気軽に取り組める身体活動の周知や運動が継続できる取組を推進することにあわせ、運動による生活習慣病予防、ロコモティブシンドローム・フレイル予防等の周知・啓発を関係団体とともにを行います。 ⑦けん診（健診・検診）や健康相談等を活用し、糖尿病と歯周病の関係性等について啓発を行います。 ⑧草津市産農産物等を使ったレシピを草津市クックパッド公式キッチン「草津・たび丸kitchen」に掲載するとともに、広報くさつや市ホームページにて食育に関する情報を提供します。 ⑩市が実施するがん検診結果や定期予防接種記録をマイナポータルで閲覧できるように取り組みます。		
										①②⑥ ＜健幸フレイル予防講座＞ 高齢者が自らフレイル予防に取り組むことができるよう、複数の専門職（理学療法士、看護師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、保健師）からの体験を交えた講座を開催することで、高齢者が自らフレイル予防に取り組むための知識の提供およびきっかけづくりとなりました。参加者が定員数（各会場20名）に達していないため、参加したいと思っていただける講座となるよう工夫が必要です。 ＜専門職出前講座＞ 専門職を派遣する出前講座を通して自らフレイル予防に取り組むきっかけづくりを行い、出前講座の周知方法を見直すことにより、申込数が増加しました。このことにより、高齢者がフレイル予防に関する正しい知識を得て、自らフレイル予防に取り組むきっかけとなる機会を増やすことができました。出前講座に興味・関心のある層には引き続き講座を開催することでフレイルに関する知識を提供していくとともに、出前講座の無関心層に対しても広く啓発できる機会を増やし、フレイルに関して市民に広く周知していく必要があると考えます。	○期待とおりの成果があった	①②⑥ ＜健幸フレイル予防講座＞ 高齢者が自らフレイル予防に取り組むことができるよう、複数の専門職（理学療法士、看護師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、保健師）からの体験を交えた講座を開催することで、高齢者が自らフレイル予防に取り組むための知識の提供およびきっかけづくりとなりました。参加者が定員数（各会場20名）に達していないため、参加したいと思っていただける講座となるよう工夫が必要です。 ＜専門職出前講座＞ 専門職を派遣する出前講座を通して自らフレイル予防に取り組むきっかけづくりを行い、出前講座の周知方法を見直すことにより、申込数が増加しました。このことにより、高齢者がフレイル予防に関する正しい知識を得て、自らフレイル予防に取り組むきっかけとなる機会を増やすことができました。出前講座に興味・関心のある層には引き続き講座を開催することでフレイルに関する知識を提供していくとともに、出前講座の無関心層に対しても広く啓発できる機会を増やし、フレイルに関して市民に広く周知していく必要があると考えます。	2.対象や実施方法を変えて実施	【長寿いきがい課】 ①②⑥ ＜AIを活用したフレイル予防運動教室（健幸フレイル予防講座を同時開催）＞ 座学だけでなく運動を取り入れた「AIを活用したフレイル予防運動教室」を開催し、運動習慣の定着を図り、フレイルの改善につなげます。また、参加者数の増加に向け、効果的な周知方法を検討します。フレイル予防に関連する出前講座を行う場で、運動や栄養・口腔等の生活習慣の改善方法や、市が行っている事業を紹介するリーフレットを配布します。 ＜専門職出前講座＞ 引き続き、地域の通いの場等において、リハビリ専門職や管理栄養士等によるフレイル予防に関連する出前講座を行うとともに、いきいき百歳体操や草津歯・ロからこんにちは体操の活動希望団体に対し立ち上げ支援や活動継続支援を行います。 ・フレイル出前講座R8計画 合計：60回		
										①健幸かるてを作成し、市ホームページへの掲載、地域の通いの場や健康づくりの機会での情報提供を行いました。 ②⑥R7年度はポピュレーションアプローチ（健康教育や健康測定会等）を全学区で延べ63回実施し、商業施設等の場を活用したことで、幅広い年代に健康意識が向上するように啓発ができました。	○期待とおりの成果があった	市ホームページでの情報提供だけでなく、地域の通いの場や地域で役割をもち活躍している人への情報提供も行うことができました。引き続き地域や関係機関と連携し、健康に関わるデータ等の分析を行い、地域の健康課題を共有し、地域が主体的に健康づくりに取り組むことができるような仕組みづくりをより一層進めていきます。	1.内容を変えずに実施	【人とくらしのサポートセンター】 ①小学校区毎の健幸かるてを作成し、市ホームページだけでなく、地域の通いの場や健康づくりの機会での情報を提供します。 ②⑥地域診断等から各小学校区の健康課題を整理し、地域の住民や団体、企業等と協働したポピュレーションアプローチを行い、生活習慣の改善や生活習慣病予防、介護予防、地域づくりについて、情報提供および周知啓発を行います。若年層に関しても啓発ができるように検討し啓発します。		
										①・3種類のシネアートの放映（R7.4月～R7.9月） （R7 3本放映／R6 3本放映） ・「健幸都市くさつ」の公式SNS（note、X、Instagram、LINE、facebook）の投稿 （記事投稿数：R7 6本＋Instagram単独16本／R6 10本） ②・健幸フェア （来場者数：R7 1,415人／R6 6,111人） ・BKCウェルカムデー～びわこ・くさつ健幸フェスタ～ （来場者数※：R7 約8,500人／R6 14,124人） ※うち、ウォークラリー参加者：R7 1,000人／R6 1,000人	○期待とおりの成果があった	①イオンシネマ草津でのシネアートの放映や「健幸都市くさつ」の公式SNSでの情報発信に取り組むことで、「健幸都市くさつ」の認知度向上を図ることができました。 ②「みんなの健幸フェア」では例年とは違うターゲット層に働きかけができるよう開催時間を変更し、より幅広い方へ健康づくりの啓発を行うことができました。また、「BKCウェルカムデー～びわこ・くさつ健幸フェスタ～」では、イベントの中で「くさつ健幸ウォークラリー」を実施し、参加者に対し健康づくりに取り組むきっかけづくりとなるよう働きかけを行うことができました。	2.対象や実施方法を変えて実施	【健康福祉政策課】 ①「健康づくり」に関する啓発動画をイオンシネマ草津で放映するほか、「健幸都市くさつ」の公式SNSを活用した情報発信に取り組み、Instagramのストーリーをさらに活用するなど、市民の行動変容につなげるきっかけづくりを行います。 ②健康体験型イベントである「健幸フェア」「BKCウェルカムデー～びわこ・くさつ健幸フェスタ～」において、市民の行動変容につなげるきっかけづくりを行います。なお、より幅広い市民層に参加を促し、またターゲットを絞ったイベント開催を実現できるよう「健幸フェア」は曜日を、「健幸フェスタ」は開催時期を変更予定です。		
・栄養教諭による栄養指導の実施 R7：14小学校、3中学校（R6：14小学校、4中学校） ・児童・生徒等へ給食だよりの配付、HP掲載 R7：11回（R6：11回）	○期待とおりの成果があった	学校給食の取組や児童等の家庭における食生活について意識の醸成を図ることができました。よりよい指導や啓発に向けて内容の充実を図るために、今後も引き続き指導・啓発について検討していく必要があります。	1.内容を変えずに実施	【学校給食センター】 ⑨市内小中学校において、給食時間の訪問や指導、各校に応じた資料提供、食に関する授業を実施します。												

方針：生活習慣病の予防																
方向性	評価指標	単位	計画策定時	中間評価時(R8)			最終目標 (R11)			最終目標達成度	主な取組	R7年度の取組実績	実施評価	R7年度の取組の成果・課題	R8年度に向けて	R8年度の取組の方向性について
				目標値	実績値	年度	目標値	実績値	年度							
特定健診受診率の向上	①未受診者の特性に応じた受診勧奨の実施	特定健診受診率(※)	%	36.4%	50.0%	41.5%	R7	60.0%		69.2%	①文書による受診勧奨通知の際に、過去の受診結果に基づく健康づくりへのアドバイスに記載する等、様々な勧奨方法を発送時期とともに検討・送付します。また、勧奨通知に市のホームページにつながるQRコードを掲載するとともに、SNS等を活用するなど、特定健診の詳細な情報を提供します。 ②勧奨通知の内容を、健診の受診状況等から対象者の特性に合わせたものとし、勧奨効果を高めます。 ③不定期受診者については、通知物発送後に健診受診状況を分析し、電話勧奨の対象者を検討しながら、健診受診の意向のない方からは、健康状態や未受診理由を聞き取り、今後の未受診対策につなげます。 ④電話勧奨実施時に、勤務先での健診を受診された方について、健診結果の提供をお願いするとともに、医療機関側からも健診受診につき被保険者に働き掛けいただけるよう、地域の医療機関と連携します。	①② 【通知】延べ18,262人 <1回目>9,000人 ・過去3年不定期受診者 ・過去3年未受診者（レセプトの有無で分ける） ・前年度国保加入者 <2回目>2,717人 ・過去3年未受診者のうち、レセプトがある方（通院中） <3回目>6,283人 ・令和7年度未受診者 <4回目>262人 ・令和7年度未勧奨未受診者 特定健診受診勧奨通知に、対象者に合わせた文言を記載し、4回発送しました。リーフレットやチラシには特定健診についての情報が掲載されたホームページへのQRコードを積極的に記載しました。 【SMS】延べ6,000人 携帯電話保有者のうち、連続受診者・不定期受診者・未受診者のセグメント別に受診勧奨を送付しました。 ③【電話】延べ2,000人 本人に通話：406人、予約済・受診意思あり：281人 未受診者と実際に話し、受診しない理由を知ることができました。 ④電話勧奨時に定期的に検査している人に対しては、事業主健診や治療中患者情報提供の提供について実施いただけるよう依頼しました。	〇期待とおりの成果があった	①②対象者の健診受診状況に合わせた受診勧奨通知を送付し、ナッジ理論を活用したメッセージを記載するとともに、特定健診特設ページにつながるQRコードを掲載することで、特定健診の受診方法や予約方法をわかりやすく案内しました。また、新たにSMSによる受診勧奨を行い、健診未受診者への啓発の機会を増やしました。 集団けん診の予約において、電子申請予約を導入し、受診しやすい環境を整えることで、若年層の受診者の増加や新規受診者の獲得につながりました。 様々な受診勧奨を工夫して行ったことで、受診率が増加しました。目標値達成に向け、特に受診率の低い若年層の受診者の増加と、不定期受診者の定着を図る必要があります。	1.内容を変えずに実施	【保険年金課】 ①文書による受診勧奨通知の際に、ナッジ理論を活用したメッセージを記載する等、様々な勧奨方法を発送時期とともに検討し送付します。また、勧奨通知に特定健診特設ページのQRコードを掲載するとともに、SNS等を活用するなど、特定健診の詳細な情報を提供します。 ②勧奨通知の内容を、健診の受診状況等から対象者の特性に合わせたものとし、勧奨効果を高めます。 ③電話勧奨の際、健診受診の意向のない方からは、健康状態や未受診理由を聞き取り、今後の未受診対策につなげます。 ④電話勧奨実施時に、勤務先での健診を受診された方について、健診結果の提供をお願いするとともに、医療機関側からも健診受診につき被保険者に働き掛けいただけるよう、地域の医療機関と連携します。また、受診券当初発送の際に治療中患者情報提供についての案内を全員に送付し、より多くの情報提供を呼びかけています。
		3年連続未受診者割合(※)	%	42.8%	41.5%	34.8%	R7	40.0%		114.9%						
		特定健診未受診者かつ医療機関受診なしの者の割合(※)	%	39.0%	37.0%	38.6%	R7	35.0%		90.7%						
	②40歳代の健診受診率の向上	40歳代の健診受診率(※)	%	23.8%	25.0%	25.2%	R7	26.5%		95.1%	①40歳代への受診勧奨については、電子申請を導入し電話のつながらない休日・夜間でも集団けん診への申込を可能にします。 ②健康づくりイベント等において、40歳代を含む層にも健診の啓発を行います。	①集団けん診の電子申請は、40～50歳代で利用する人や、休日や夜間に予約されている方が多く、引き続き電子申請を実施し、予約しやすい環境を整える必要があります。 ②BKCウェルカムデーにおいて、健康測定会を実施し、特定健診と生活習慣病予防の啓発を行いました。40歳代の方は全体の31%来て下さり健診の啓発を行いました。	〇期待とおりの成果があった	①集団けん診の予約において、電子申請を導入し、新たにイオンモールで実施したことで、40歳代の受診者数が増加し、新規受診者の獲得にもつながっています。 ②40歳代の受診者率は依然として低いため、BKCなどの若年層の対象者が集まるイベント等で、周知・啓発を実施していく必要があります。	1.内容を変えずに実施	【保険年金課】 ①40歳代への受診勧奨については、電子申請を導入し電話のつながらない休日・夜間でも集団けん診への申込を可能にします。また、託児サービスを継続し、受診しやすい環境を整えます。R8年度も、イオンモール草津での集団けん診を実施し、若年層が買い物ついでに受診できるようにします。 ②健康づくりイベント等において、40歳代を含む層にも健診の啓発を行います。
	③特定健診とがん検診の同時実施	特定健診受診率(※)(再掲)	%	36.4%	50.0%	41.5%	R7	60.0%		69.2%	①市内施設における集団けん診により、がん検診との同時受診の機会を提供します。 ②集団けん診の詳細について、広報、ホームページ等の媒体のほか、文書による受診勧奨通知等の機会を活用して周知・啓発します。 ③プレ特定健診の同時実施により、受診機会の拡大を図ります。	①特定健診とがん検診を同時実施することにより、双方の受診率向上を図りました。 ②40歳代の受診者率は依然として低いため、BKCなどの若年層の対象者が集まる場で、周知・勧奨を実施していく必要があります。	〇期待とおりの成果があった	①②40～50歳代の若年層において、電子申請予約の割合が高くなりました。引き続き、リーフレットや市のホームページ、広報等で周知を行い、QRコードなどを掲載し分かりやすい受診方法や予約方法を案内していく必要があります。	1.内容を変えずに実施	【保険年金課】 ①市内施設における集団けん診により、がん検診との同時受診の機会を提供します。 ②集団けん診の詳細について、広報、ホームページ等の媒体のほか、文書による受診勧奨通知等の機会を活用して周知・啓発します。
		胃がん検診受診率	%	1.8%	7.1%	2.9%	R6	12.5%		23.2%		〇期待とおりの成果があった				
		子宮頸がん検診受診率	%	12.7%	17.4%	15.4%	R6	22.1%		69.7%		〇期待とおりの成果があった				
		乳がん検診受診率	%	12.5%	20.2%	15.7%	R6	27.8%		56.5%		〇期待とおりの成果があった	①③協会けんぽと連携し、集団けん診を実施し、受診しやすい環境づくりを行うことができました。 ②個別勧奨通知の工夫や、がん検診啓発動画の放映等を通して、日ごろから自身の健康状態について知ることの重要性の啓発と検診の受診勧奨を行うことができました。	1.内容を変えずに実施	【健康増進課】 ①③特定健診やプレ特定健診と複数のがん検診が同時受診できるよう、協会けんぽと連携し、集団けん診を実施します。また、集団けん診の実施にあたっては、Web予約の実施、託児支援等を行い、受診しやすい環境づくりを行います。 ②集団けん診の実施にあたっては、広報くさつや市ホームページ、イベントでの周知・啓発を行うほか、ナッジ理論を取り入れた個別勧奨通知の送付に取り組みます。	
		大腸がん検診受診率	%	15.2%	19.0%	17.5%	R6	22.7%		77.1%		〇期待とおりの成果があった				
		肺がん・結核検診受診率	%	19.3%	23.7%	20.4%	R6	28.1%		72.6%		〇期待とおりの成果があった				
	④被用者保険との連携による集団けん診の実施	特定健診受診率(※)(再掲)	%	36.4%	50.0%	41.5%	R7	60.0%		69.2%	①市内施設における集団けん診により、がん検診との同時受診の機会を提供します。 ②集団けん診の詳細について、広報、ホームページ等の媒体のほか、文書による受診勧奨通知等の機会を活用して周知・啓発します。 ③健康啓発ブースにおいてベジチェックや歯科口腔保健など保険会社と連携して健康づくりについて啓発を行います。	①特定健診とがん検診の同時実施により、双方の受診率向上を図りました。 ②特定健診の受診券発送時にも、集団けん診でがん検診も同時受診できることや集団けん診のホームページへのQRコードを記載したリーフレットを送付し、周知しました。（①②再掲） ③集団けん診において、保険会社による健康啓発ブースを設置することで、受診勧奨時に多くの方が関心を持ち、集団けん診の予約に繋がりました。会場ではベジチェックや糖化度測定、姿勢チェック、肌年齢測定を用いて、健康状態の確認や生活習慣の振り返りを行うことができました。	〇期待とおりの成果があった	①②40～50歳代の若年層において、電子申請予約の割合が高くなりました。引き続き、リーフレットや市のホームページ、広報等で周知を行い、QRコードなどを掲載し分かりやすい受診方法や予約方法を案内していく必要があります。 ③保険会社による健康啓発ブースを設置することで、健康づくりの啓発の機会をつくることができました。	1.内容を変えずに実施	【保険年金課】 ①市内施設における集団けん診により、がん検診との同時受診の機会を提供します。 ②集団けん診の詳細について、広報、ホームページ等の媒体のほか、文書による受診勧奨通知等の機会を活用して周知・啓発します。 ③健康啓発ブースにおいて保険会社と連携して健康づくりについて啓発を行います。
											①市内施設における集団けん診により、がん検診との同時受診の機会を提供します。 ②集団けん診の詳細について、広報、ホームページ等の媒体のほか、文書による受診勧奨通知等の機会を活用して周知・啓発します。 ③健康啓発ブースにおいてベジチェックや歯科口腔保健など保険会社と連携して健康づくりについて啓発を行います。	①②特定健診やプレ特定健診と複数のがん検診が同時受診できるよう、協会けんぽと連携し、集団けん診を実施しました。また、集団けん診については、予約枠の拡大やWeb予約の実施を行うとともに、託児支援を行いました。 ②集団けん診の実施にあたっては、ナッジ理論を活用した個別勧奨を送付するほか、イオンシネマや市SNS公式アカウントにてがん検診啓発動画の放映、立命館大学健康フェスタ等のイベントでの乳がんの触診体験等を実施しました。 受診率（R6） ・胃がん検診 X線：2.9% 内視鏡：1.5%（胃がん検診全体 R5：2.9%） ・子宮頸がん検診 15.4%（R5:15.0%） ・乳がん検診 15.7%（R5:15.1%） ・大腸がん検診 17.5%（R5:15.6%） ・肺がん・結核検診 20.4%（R5:18.4%） ③集団けん診等において、歯科疾患予防等にかかる啓発を行いました。 ・集団健診における歯科啓発 7回（R6：5回） ・啓発実施市民 513名（R6：358名）	〇期待とおりの成果があった	①協会けんぽと連携し、集団けん診を実施し、受診しやすい環境づくりを行うことができました。 ②個別勧奨通知の工夫や、がん検診啓発動画の放映等を通して、日ごろから自身の健康状態について知ることの重要性の啓発と検診の受診勧奨を行うことができました。 ③集団けん診をはじめ、様々な機会を活用して啓発を行うことで、歯科健診の重要性の周知に取り組むことができました。	1.内容を変えずに実施	①特定健診やプレ特定健診と複数のがん検診が同時受診できるよう、協会けんぽと連携し、集団けん診を実施します。また、集団けん診の実施にあたっては、Web予約の実施、託児支援等を行い、受診しやすい環境づくりを行います。 ②集団けん診の実施にあたっては、広報くさつや市ホームページ、イベントでの周知・啓発を行うほか、行動経済学のナッジ理論を取り入れた個別勧奨通知の送付に取り組めます。 ③けん診の機会を通じて、歯や口腔の健康にかかる基礎的な知識の普及、相談、指導を行うとともに、歯科健診の重要性について啓発します。

方向性	評価指標		単位	計画策定時	中間評価時(R8)			最終目標 (R11)			最終目標達成度	主な取組	R7年度の取組実績	実施評価	R7年度の取組の成果・課題	R8年度に向けて	R8年度の取組の方向性について	
					目標値	実績値	年度	目標値	実績値	年度								
特定保健指導実施率の向上と質の高い保健指導の実施	①質の高い効果的な利用勧奨・保健指導の実施	特定保健指導実施（終了）率(※)	%	16.7%	38.5%	16.4%	R6	60.0%			27.3%	①保健指導対象者には、案内通知と同時に電話による勧奨を実施します。 ②不在者には、再勧奨通知の送付、もしくは電話により個別勧奨を実施します。 ③医療機関や特定保健指導事業所、滋賀県栄養士会との連携により、保健指導を実施します。 ④保健指導の見える化により、対象者の特性に応じた質の高い保健指導を実施できるように分析・評価を行えるよう検討します。 ⑤未利用者対策としてイベント型の特定保健指導を実施します。	①②特定保健指導対象者には、健診結果記載の案内通知を送付し、電話による利用勧奨を行うほか、不在者に対しては訪問による再勧奨を行いました。また、利用者に対しては専門職による3か月以上の保健指導を実施し、生活習慣の改善と生活習慣病の予防の指導を行いました。 ③草津栗東医師会、公益社団法人栄養士会、委託事業所と連携し、保健指導の実施を行いました。 ④特定保健指導事業所と栄養士会における事業評価等を随時活用し、対象者ごとの特性に応じた質の高い保健指導を実施できるよう取り組みました。 ⑤イベント型特定保健指導等を実施し、実施率向上に向けて取り組みました。 ・特定保健指導実施者数 137人 (R6:104人) うちイベント型特定保健指導実施者 31人 (R6:24人) うち訪問し指導につながった人 30人 (R6:6人)	○期待とおりの成果があった	①②案内通知の工夫や、電話での利用勧奨、訪問を行い、生活習慣の改善と生活習慣病の予防の指導を行うことができました。 ③④⑤草津栗東医師会、公益社団法人栄養士会、委託事業所と連携し、対象者が特定保健指導を利用しやすい環境を整えることができました。 これらの取組の結果、特定保健指導実施者の増加に繋げることができました。	1.内容を変えずに実施	【健康増進課】 ①保健指導対象者には、案内通知と同時に電話による勧奨を行います。 ②不在者には、再勧奨通知の送付を行うとともに、電話や訪問による個別勧奨を実施します。加えて、電話勧奨不在者に対する訪問を強化し、特定保健指導利用者増加に取り組みます。 ③医療機関や特定保健指導事業所、滋賀県栄養士会と連携し、保健指導を実施します。 ④特定保健指導実施事業所と栄養士会における事業評価等を活用し、対象者ごとの特性に応じた質の高い保健指導を実施できるよう取り組みます。 ⑤イベント型の特定保健指導を実施し、未利用者対策に取り組みます。	
		特定保健指導実施（終了）率(※) (再掲)	%	16.7%	38.5%	16.4%	R6	60.0%			27.3%	①保健指導対象者には、案内通知と同時に電話による勧奨を実施します。 ②不在者には、再勧奨通知の送付、もしくは電話や訪問での個別勧奨を実施します。 ③ICTによるオンライン化により、保健指導利用者の利便性を図るとともに、特定保健指導実施率の向上を目指します。	①保健指導対象者には、案内送付と電話による利用勧奨を行いました。 ②不在者には、訪問による再勧奨を行いました。 ③オンラインによる保健指導の機会を設け、特定保健指導実施率向上を図りました。 ・オンライン面談 1人 (R6:2人)	○期待とおりの成果があった	保健指導実施率の向上に向け、勧奨方法を工夫するとともに、オンラインを取り入れる等、実施方法について工夫することができました。 引き続き、利用しやすい環境づくりを進めることが必要です。	1.内容を変えずに実施	【健康増進課】 ①保健指導対象者には、案内通知と同時に電話による勧奨を行います。加えて、電話勧奨不在者に対する訪問を強化し、特定保健指導利用者増加に取り組みます。 ②不在者には、再勧奨通知の送付を行うとともに、電話や訪問による個別勧奨を実施します。 ③オンラインによる保健指導を行います。	
		③保健指導委託先へのフィードバック	特定保健指導実施（終了）率(※) (再掲)	%	16.7%	38.5%	16.4%	R6	60.0%			27.3%	保健指導利用者の生活習慣の改善状況について聞き取り、指導効果について保険者と委託業者が共有することにより、質の高い保健指導を実施します。	保健指導の実施にあたっては、委託業者と協議を行い、特定保健指導実施者数向上のための方法や、質の高い保健指導の手法について検討し、実施しました。	○期待とおりの成果があった	保健指導実施率や保健指導の質の向上に向け、委託業者との協議を行うことができており、継続して取り組むことが必要です。	1.内容を変えずに実施	【健康増進課】 保健指導の実施方法や効果について、委託業者と協議を行い、特定保健指導実施者数向上のための方法や、質の高い保健指導の手法について検討・実施します。
がん検診受診率の向上	①特定健診とがん検診の同時実施 (再掲)	特定健診受診率(※) (再掲)	%	36.4%	50.0%	41.5%	R7	60.0%			69.2%	①市内施設における集団けん診により、がん検診との同時受診の機会を提供します。 ②集団けん診の詳細について、広報、ホームページ等の媒体のほか、文書による受診勧奨通知等の機会を活用して周知・啓発します。 ③集団けん診の実施にあたっては、ナッジ理論を活用した個別勧奨を送付するほか、イオンシネマや市SNS公式アカウントにてがん検診啓発動画の放映、立命館大学健幸フェスタ等のイベントでの乳がんの触診体験等を実施しました。 受診率 (R6) ・胃がん検診 X線:2.9% 内視鏡:1.5% (胃がん検診全体 R5:2.9%) ・子宮頸がん検診 15.4% (R5:15.0%) ・乳がん検診 15.7% (R5:15.1%) ・大腸がん検診 17.5% (R5:15.6%) ・肺がん・結核検診 20.4% (R5:18.4%)	①特定健診とがん検診の同時実施により、双方の受診率向上を図りました。 ②特定健診の受診券発送時にも、集団けん診でがん検診も同時受診できることや集団けん診のホームページへのQRコードを記載したリーフレットを送付し、周知しました。(①②再掲)	○期待とおりの成果があった	①②40～50歳代の若年層において、電子申請予約の割合が高くなりました。引き続き、リーフレットや市のホームページ、広報等で周知を行い、QRコードなどを掲載し分かりやすい受診方法や予約方法を案内していく必要があります。	1.内容を変えずに実施	【保険年金課】 ①市内施設における集団けん診により、がん検診との同時受診の機会を提供します。 ②集団けん診の詳細について、広報、ホームページ等の媒体のほか、文書による受診勧奨通知等の機会を活用して周知・啓発します。	
		胃がん検診受診率 (再掲)	%	1.8%	7.1%	2.9%	R6	12.5%			23.2%							
		子宮頸がん検診受診率 (再掲)	%	12.7%	17.4%	15.4%	R6	22.1%			69.7%							
		乳がん検診受診率 (再掲)	%	12.5%	20.2%	15.7%	R6	27.8%			56.5%	①特定健診やブレ特定健診と複数のがん検診が同時受診できるよう、協会けんぽと連携し、集団けん診を実施しました。また、集団検診については、予約枠の拡大やWeb予約の実施を行うとともに、託児支援を行いました。 ②集団けん診の実施にあたっては、ナッジ理論を活用した個別勧奨を送付するほか、イオンシネマや市SNS公式アカウントにてがん検診啓発動画の放映、立命館大学健幸フェスタ等のイベントでの乳がんの触診体験等を実施しました。 受診率 (R6) ・胃がん検診 X線:2.9% 内視鏡:1.5% (胃がん検診全体 R5:2.9%) ・子宮頸がん検診 15.4% (R5:15.0%) ・乳がん検診 15.7% (R5:15.1%) ・大腸がん検診 17.5% (R5:15.6%) ・肺がん・結核検診 20.4% (R5:18.4%)	○期待とおりの成果があった	①協会けんぽと連携し、集団けん診を実施し、受診しやすい環境づくりを行うことができました。 ②個別勧奨通知の工夫や、がん検診啓発動画の放映等を通して、日ごろから自身の健康状態について知ることの重要性の啓発と検診の受診勧奨を行うことができました。	1.内容を変えずに実施	①③特定健診やブレ特定健診と複数のがん検診が同時受診できるよう、協会けんぽと連携し、集団けん診を実施します。また、集団けん診の実施に際しては、Web 予約の実施、託児支援等を行い、受診しやすい環境づくりを行います。 ②集団けん診の実施にあたっては、広報くさつや市ホームページ、イベントでの周知・啓発を行うほか、行動経済学のナッジ理論を取り入れた個別勧奨通知の送付に取り組みます。		
		大腸がん検診受診率 (再掲)	%	15.2%	19.0%	17.5%	R6	22.7%			77.1%							
		肺がん・結核検診受診率 (再掲)	%	19.3%	23.7%	20.4%	R6	28.1%			72.6%							
	②個別勧奨および再勧奨の実施	胃がん検診受診率 (再掲)	%	1.8%	7.1%	2.9%	R6	12.5%			23.2%	①啓発リーフレット等による個別勧奨の実施を検討します。 ②無料クーポン券について、再勧奨を実施します。 ③精密検査受診率向上に向けては、外部機関の協力を得て検査結果から、精密検査が必要であれば医療機関を紹介して受診を促すなどの取組を実施するとともに、次年度のがん検診受診率向上につなげます。	○期待とおりの成果があった	①②各がん検診の対象者に、ナッジ理論を取り入れた個別勧奨通知を送付するとともに、大腸がん検便キットの送付や子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポン券の送付を行いました。なお、無料クーポンについては、国が示す対象者の枠(子宮頸がん検診:20歳、乳がん検診:40歳)を拡大して送付しました。あわせて、健幸都市宣言賛同事業所への啓発物の配布とともに、イオンシネマや市SNS公式アカウントにてがん検診啓発動画の放映、立命館大学健幸フェスタ等のイベントでの乳がんの触診体験等を実施しました。 ③精密検査対象者に対しては、外部機関と協力し、受診を促すことに加え、医師を交えた委員会等において、がん検診受診率向上に向けた検討を行いました。 受診率 (R6) ・胃がん検診 X線:2.9% 内視鏡:1.5% (胃がん検診全体 R5:2.9%) ・子宮頸がん検診 15.4% (R5:15.0%) ・乳がん検診 15.7% (R5:15.1%) ・大腸がん検診 17.5% (R5:15.6%) ・肺がん・結核検診 20.4% (R5:18.4%)	1.内容を変えずに実施	【健康増進課】 ①がん検診等を効果的に周知し、受診行動を促すことができるよう、行動経済学のナッジ理論を取り入れた個別勧奨通知に取り組み、がん等の早期発見、死亡率減少を図ります。また、健幸都市宣言賛同事業所への検診啓発ポスターやリーフレットの送付、イベント等での啓発を行うとともに、がん検診啓発動画をSNSや映画館にて放映し、がん検診受診率向上に向けた取組をすすめます。 ②無料クーポン券については、未利用者に対し、再勧奨はがきを送付し、受診行動を促します。 ③精密検査対象者に対しては、外部機関と協力し受診を促すことに加え、次年度のがん検診受診率向上に向けた検討を行います。		
		子宮頸がん検診受診率 (再掲)	%	12.7%	17.4%	15.4%	R6	22.1%			69.7%							
		乳がん検診受診率 (再掲)	%	12.5%	20.2%	15.7%	R6	27.8%			56.5%							
		大腸がん検診受診率 (再掲)	%	15.2%	19.0%	17.5%	R6	22.7%			77.1%							
		肺がん・結核検診受診率 (再掲)	%	19.3%	23.7%	20.4%	R6	28.1%			72.6%							
生活習慣病の早期発見・早期治療	①特定保健指導の対象外で保健指導判定値を超える方への支援	高血糖者の割合(※)	%	9.5%	9.4%	11.1%	R7	9.2%			82.9%	①40歳代、65歳～69歳の生活習慣病のリスクが高い者に対し、状態に合わせた情報提供を行いました。 ②生活習慣病予防のため、広報くさつや市ホームページ、デジタルサイネージ等の様々な機会を通して啓発を行いました。 ・女性の健康習慣 (3月 デジタルサイネージ、庁内放送、広報) ・飲酒 (健幸都市賛同事業所へ啓発メール、ちらし送付により啓発 (計4回)、みなくさまつりにて啓発) ・休養・睡眠 (健幸都市賛同事業所へ啓発メール、ちらし送付により啓発 (計4回)) ③生活習慣病相談や年6回の運動教室の利用勧奨により、生活習慣の改善に向けて気軽に相談できる機会を提供するとともに、運動習慣の確立に向けた支援を行いました。 ・栄養相談・生活習慣病相談 延べ29人 (R6:17人) ・運動教室利用者 延べ36人 (計6回開催) (R6:73人 (計6回開催))	○期待とおりの成果があった	①生活習慣病のリスクが高い者を抽出し、生活習慣病に関する情報提供を行うことで、生活習慣病の重症化予防に取り組むことができました。 ②③健康イベント等の様々な機会を活用し、生活習慣病予防・重症化予防にかかる啓発を行うことができました。	1.内容を変えずに実施	【健康増進課】 ①40歳代、65～69歳の方に対して肥満、高血圧、脂質異常、血糖に関する啓発ちらしを活用し情報提供を行い、生活習慣病の発症予防を行います。 ②広報くさつやさわやか健康だより、イベント等を通して、健康情報を発信するとともに、糖尿病をはじめとする生活習慣病についての正しい知識の普及・啓発を行います。 ③生活習慣病への疑問や不安を抱えた方に対して、生活習慣病に関する相談を行うほか、生活習慣病重症化予防に向けた生活習慣の改善に向けたアドバイスを行います。		
		血圧が保健指導判定値以上の方の割合(※)	%	49.3%	46.5%	46.3%	R7	44.0%			95.0%							

方針：生活習慣病の重症化予防																	
方向性	評価指標		単位	計画策定時	中間評価時(R8)			最終目標 (R11)			最終目標達成度	主な取組	R7年度の取組実績	実施評価	R7年度の取組の成果・課題	R8年度に向けて	R8年度の取組の方向性について
					目標値	実績値	年度	目標値	実績値	年度							
糖尿病性腎症および生活習慣病の重症化予防	①糖尿病性腎症および生活習慣病のハイリスク者に対する支援	糖尿病性腎症重症化予防対象者の医療機関受診率	%	38.2%	59.0%	70.0%	R7	80.0%			87.5%	①対象者への訪問や電話、リーフレットなどの送付により医療機関への受診を促し、保健指導につなげます。 ②糖尿病性腎症重症化予防の対象者については、かかりつけ医等と連携をとりながら保健指導を行い、より手厚い支援を行います。	【糖尿病性腎症重症化予防事業】 対象者への通知、訪問、電話等により、健康状態や生活状況の聞き取り、特定健診や医療機関の受診勧奨、保健指導を行いました。 ①通知・リーフレット送付者数：30人（R6：51人） 医療機関受診に繋がった者：4人（R6：8人） 特定健診受診に繋がった者：7人（R6：17人） ＜中断者＞ 対象者：15人（R6：30人） ・医療機関受診に繋がった者：3人（R6：7人） ・特定健診受診に繋がった者：0人（R6：3人）	○期待とおりの成果があった	①滋賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき対象者を抽出し、通知とリーフレットの送付、訪問や電話を行い、特定健診や医療機関受診、保健指導につなげることができました。経年的に対象となる方もいるため、引き続き本人の健康状態や生活状況を丁寧に聞き取り、特定健診や医療機関の受診勧奨や保健指導につながるようアプローチしていく必要があります。	1.内容を変えずに実施	【保険年金課】 ①対象者への訪問や電話、リーフレットなどを送付し、訪問や電話で健康状態や生活状況を丁寧に聞き取り、特定健診や医療機関の受診を促すことで重症化予防を図ります。
		HbA1c8.0%以上の方の割合(※)	%	1.2%	1.1%	1.2%	R7	1.0%			83.3%						
		HbA1c6.5%以上の方のうち、糖尿病のレセプトがない方の割合(※)	%	15.9%	14.4%	17.0%	R7	12.9%			75.9%						
												＜未受診者＞ 草津東医師会や特定健診実施医療機関に当該事業にかかる周知を行いました。対象者について、通知や電話、訪問による利用勧奨を行い、かかりつけ医と連携した保健指導を行いました。また、前年度における事業利用者については、電話等でフォローを行いました。 ・対象者への利用勧奨（通知や電話、訪問）15人/15人（R6：21人） ・訪問・架電・保健指導による変化 医療機関受診 1名増加（14人→15人） 健診受診 8人増加（1人→9人） ・かかりつけ医と連携した保健指導 5名（実施率16.7%）（R6：7名 実施率13.7%）	○期待とおりの成果があった	対象者全員に利用勧奨を行い、保健指導実施者に対しては、それぞれの状況に応じた指導を継続的に実施し、生活習慣の改善と医療機関受診・健診受診を支援することができました。	1.内容を変えずに実施	【健康増進課】 ①対象者への個別訪問や電話勧奨、リーフレットなどの送付を行い、医療機関への受診を促し、保健指導につなげます。 ②未受診者や治療中断者に対しては、個別訪問等を行い、受診勧奨等を行うとともに、かかりつけ医と連携した保健指導を実施することで、対象者の生活習慣の見直しを図ります。	

方針：医療費の適正化																
方向性	評価指標		単位	計画策定時	中間評価時(R8)			最終目標 (R11)		最終目標達成度	主な取組	R7年度の取組実績	実施評価	R7年度の取組の成果・課題	R8年度に向けて	R8年度の取組の方向性について
					目標値	実績値	年度	目標値	実績値							
適正受診・適正服薬の推進	①重複・頻回受診、重複服薬者および多剤投与者への支援	重複・頻回受診者、重複服薬者のレセプト改善率	%	50.0%	56.0%	75.0%	R7	62.0%		121.0%	①重複・頻回受診者、重複服薬者および多剤投与者に対して、電話や訪問指導を実施します。 ②電話や訪問指導の効果検証や実施方法等の見直しを行い、高い改善割合を維持できるよう努めます。 ③滋賀県国民健康保険団体連合会、滋賀県医師会、滋賀県薬剤師会との連携し訪問事業を実施します。	①電話・訪問による指導実施者R7：4人（R6：6人） ②レセプト点数や受診日数改善者：3人/4人（75.0%）（R6：66.7%） ③滋賀県国民健康保険団体連合会、滋賀県医師会、滋賀県薬剤師会と連携をし、対象者選定や訪問指導、評価を実施することができました。	○期待とおりの成果があった	①②③対象者の訪問は滋賀県国民健康保険団体連合会に委託し、対象者抽出や訪問後評価については、双方で情報共有を行い、適宜連携することができました。経年的に対象者として挙がってくる方も多いですが、長期間依存的に服薬されている方は減薬が難しく、訪問しても保健指導の効果が乏しい現状です。 また、電話で訪問キャンセルの連絡があった際に、電話での聞き取るなど保健指導に繋ぎ、少しずつ改善率の上昇を図ります。 今後は、対象者の状況に応じて、滋賀県薬剤師会と同行訪問するなどの連携を図っていきます。	1.内容を変えずに実施	【保険年金課】 ①重複・頻回受診者、重複服薬者および多剤投与者に対して、電話や訪問指導を行い、病状や生活状況、服薬や医療機関受診状況などの聞き取りを実施します。 ②対象者抽出においてより効果的な対象者を選定し、電話や訪問により、本人・家族に保健指導を行い、受診や服薬行動の改善を促すことで、レセプト点数や受診日数の減少を目指します。 ③対象者の抽出や訪問指導を委託したり、事業評価の実施・共有をしたりすることで、滋賀県国民健康保険団体連合会、滋賀県医師会、滋賀県薬剤師会との連携し訪問事業を実施します。
	②後発医薬品（ジェネリック）の普及啓発	ジェネリック医薬品の利用率	%	80.3%	80.5%	89.9%	R7	82.0%		109.6%	①被保険者証に併せて「ジェネリック医薬品希望シール」を配布するとともに、「ジェネリック医薬品差額通知」を送付することで、ジェネリック医薬品のさらなる利用を促進します。	①国民健康保険に新規加入の被保険者に対して、窓口でジェネリック医薬品希望シールを配布しました。また、ジェネリック医薬品差額通知を送付し、ジェネリック医薬品への切り替えについて啓発しました。	○期待とおりの成果があった	①ジェネリック医薬品差額通知により啓発することで、切り替えることにより医療費の軽減効果があったと考えます。	1.内容を変えずに実施	【保険年金課】 ①滋賀県国民健康保険団体連合会と連携し、ジェネリック医薬品の啓発を行います。

方向性	評価指標		単位	計画策定時	中間評価時(R8)			最終目標 (R11)			主な取組	R7年度取組実績	実施評価	R7年度取組の成果・課題		R8年度に向けて	R8年度取組の方向性について	
					目標値	実績値	年度	目標値	実績値	年度				達成度				
地域資源を活用したフレイル予防	①地域資源を活用したフレイル予防	50歳以上74歳以下における咀嚼良好者の割合	%	77.4%	79.0%	78.4%	R7	80.5%		97.4%	①フレイル予防や介護予防が必要な方に対して、運動や栄養・口腔等の生活習慣の改善方法や、市が行っている事業を紹介するリーフレットを配布します。 ②地域の通いの場(地域サロン、いきいき百歳体操、草津歯・口からこんにちは体操)等に医師や薬剤師、リハビリ職、管理栄養士、歯科衛生士等の専門職が出向き、運動機能低下、低栄養、口腔機能低下予防などのフレイル予防に関する講話や知識の普及を行います。 ③地域団体や商業施設、企業等との協働により、地域の特性に応じた健康づくりの取組を行います。	①4課で連携し、ハイリスクアプローチを行い、生活習慣病重症化予防やフレイル予防の観点から、健康状態の把握や保健指導を行いました。	○期待とおりの成果があった	①健診の結果が高血圧で医療機関未受診者や、糖尿病性腎症重症化予防事業の対象者で後期高齢者に移行した者などを抽出し、通知や訪問、電話により健康状態や医療機関受診状況の把握を行うとともに、対象者に合わせてフレイル予防の啓発や保健指導を行うことができました。また、本人なりに健康行動をとっている方も多く、ポジティブフィードバックしつつ、継続した受診を促し、かかりつけ医をもつことも伝え、困りごとがあった際には相談先として地域包括支援センターや市の窓口を紹介しました。	1.内容を変えずに実施	【保険年金課】 ①保健事業と介護予防の一体的実施において、訪問時に健康状態や生活習慣を聞き取り、フレイル予防が必要な方に対して、リーフレットを配布したり生活習慣の見直しをしたりすることで、フレイル予防の啓発を行います。		
												①②「おでかけドクター・おでかけ薬剤師とお気軽トーク」の実施を通じて、かかりつけ医・かかりつけ薬剤師の重要性を啓発するとともに、イベント等を通じて、身体活動・運動を通じた生活習慣の改善や、ロコモティブシンドローム・フレイル予防等の周知・啓発を行いました。 ・おでかけドクター：8回／158人（R6：6回／111人） ・おでかけ薬剤師：9回／197人（R6：9回／175人） ③健康推進員等と連携し、地域のイベント等の機会を活用し、生活習慣の改善と生活習慣病の発症予防・重症化予防に関する啓発を行いました。あわせて、口腔衛生や低栄養、フレイル予防に関する取組を行うほか、くさつ健康はつらつ体操の普及啓発などを行いました。 ・健康推進員による啓発 くさつ健康はつらつ体操：9回／1,134人（R6：18回1,961人） 地域健康づくり推進啓発事業：56回／2,916人（R6：56回／3,889人）	○期待とおりの成果があった	①②かかりつけ医・かかりつけ薬剤師の重要性を啓発するとともに、イベント等を通じて、周知・啓発を行い、身体活動・運動を通じた生活習慣の改善や、ロコモティブシンドローム・フレイル予防等に取り組むことができました。 ③健康推進員等と連携し、生活習慣の改善と生活習慣病の発症予防・重症化予防や口腔衛生や低栄養、フレイル予防、くさつ健康はつらつ体操の普及啓発等に関する啓発を行うことができました。	1.内容を変えずに実施	【健康増進課】 ①「おでかけドクター・おでかけ薬剤師とお気軽トーク」の実施を通じて、かかりつけ医の重要性について周知を図るとともに、イベント等を通じて、運動による生活習慣病予防、ロコモティブシンドローム・フレイル予防等の周知・啓発を行います。 ②健康推進員等と連携し、地域でのイベント等において、生活習慣の見直しや生活習慣病の発症予防に関する啓発、口腔衛生・低栄養・フレイル予防に関する事業を実施します。また、くさつ健康はつらつ体操の普及啓発などを行います。		
												①引き続き、健幸フレイル予防講座やフレイル予防に関連する出前講座を行う場で、運動や栄養・口腔等の生活習慣の改善方法や、市が行っている事業を紹介するリーフレットを配布します。また、健幸フレイル予防講座に高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業においてハイリスク訪問の対象となった方をつないでいく予定です。 ②地域の通いの場等において、リハビリ専門職や管理栄養士等によるフレイル予防に関連する出前講座を行います。併せて、いきいき百歳体操や草津歯・口からこんにちは体操の活動希望団体に対し立ち上げ支援や活動継続支援を行います。 フレイル出前講座R7計画 （PT/OT：30回、栄養士：10回、歯科衛生士18回（R6実績と同数）、保健師6回（R6実績と同数）） ③健幸フレイル予防講座およびいきいき百歳体操団体の体力測定時に後期高齢者の質問票を活用したアンケートを実施し、地域の特性の把握に努めます。	○期待とおりの成果があった	①高齢者が自らフレイル予防に取り組むことができるよう、複数の専門職（理学療法士、看護師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、保健師）からの体験を交えた講座を開催することで、高齢者が自らフレイル予防に取り組むための知識の提供およびきっかけづくりとなりました。参加者が定員数（各会場20名）に達していないため、参加したいと思っていただけの講座となるよう工夫が必要です。 ②専門職を派遣する出前講座を通して自らフレイル予防に取り組むきっかけづくりを行い、出前講座の周知方法を見直すことにより、申込数が増加しました。このことにより、高齢者がフレイル予防に関する正しい知識を得て、自らフレイル予防に取り組むきっかけとなる機会を増やすことができました。出前講座に興味・関心のある層には引き続き講座を開催することでフレイルに関する知識を提供していくとともに、出前講座の無関心層に対しても広く啓発できる機会を増やし、フレイルに関して市民に広く周知していく必要があると考えます。 いきいき百歳体操および草津歯・口からこんにちは体操の活動希望団体に対する立ち上げ支援や活動継続支援を行うことで、活動意欲を維持できるように働きかけることができました。新規活動団体の獲得のために、体操の周知・啓発に力を入れていく必要があります。 ③健幸フレイル予防講座、およびいきいき百歳体操の体力測定時に後期高齢者の質問票を活用したアンケートを実施し、地域の特性を把握するための一助となりました。	2.対象や実施方法を変更して実施	【長寿いきがい課】 ①座学だけでなく運動を取り入れた「AIを活用したフレイル予防運動教室（健幸フレイル予防講座を同時開催）」を開催し、運動習慣の定着を図り、フレイルの改善につなげます。また、参加者数の増加に向け、効果的な周知方法を検討します。フレイル予防に関連する出前講座を行う場で、運動や栄養・口腔等の生活習慣の改善方法や、市が行っている事業を紹介するリーフレットを配布します。 ②引き続き、地域の通いの場等において、リハビリ専門職や管理栄養士等によるフレイル予防に関連する出前講座を行うとともに、いきいき百歳体操や草津歯・口からこんにちは体操の活動希望団体に対し立ち上げ支援や活動継続支援を行います。 ・フレイル出前講座R8計画 合計：60回 ③健幸フレイル予防講座およびいきいき百歳体操団体の体力測定時に後期高齢者の質問票を活用したアンケートを実施し、地域の特性の把握に努めます。		
												①フレイルや介護予防に関するリーフレットの配布圏域数 R7：6中学校区（R6：6中学校区） ③ポピュレーションアプローチの実施回数（健康教育や健康測定会等） R7：63回（R6：64回）	○期待とおりの成果があった	①高齢者サロン等において、フレイルや介護予防に関するリーフレットを6中学校区全てで配布することができました。 ③開催場所や対象とする年代等を検討し、ポピュレーションアプローチを実施したことで地域の健康課題について幅広い層に情報提供、周知啓発することができました。	1.内容を変えずに実施	【人とくらしのサポートセンター】 ①高齢者サロン等において、フレイルや介護予防に関するリーフレットを配布します。 ②地域診断等から各小学校区の健康課題を整理し、地域の住民や団体、企業等と協働したポピュレーションアプローチを行います。		